

# 韓国

景気が低迷するなかで  
消費刺激策を発表

SMBC Asia Monthly

日本総合研究所 調査部

上席主任研究員 向山 英彦

E-mail : mukoyama.hidehiko@jri.co.jp

## 景気の低迷が続く

韓国の4~6月期の実質GDP成長率(暫定値)は1~3月期の前期比(以下同じ)+0.8%を著しく下回る+0.3%(前年同期比は+2.2%)になった。輸出が+0.3%(サービス輸出はマイナス)と伸び悩んだほか、民間消費がMERS(中東呼吸器症候群)の影響により0.2%になったことによるところが大きい(右上図)。

建設投資は不動産融資規制の緩和と利下げ(14年以降4回利下げ実施)に支えられて+1.6%と、安定的に伸びた。住宅価格も回復傾向にある。

足元をみると、輸出(通関ベース)が8月に前年同月比14.9%と、リーマン・ショック後で最大の落ち込みを記録した。中国を含む新興国経済の減速の影響に加え、原油安によって石油製品と石油化学製品の輸出金額が大幅に減少したためである。

MERSの影響で急減した民間消費と海外からの観光客数は、その終息に伴い回復しつつある。最近では、中国からの観光客数も元の水準に戻った。

内外需の低迷が続くなかで新たな不安材料として登場したのが、チャイナショックによる株安と通貨安である。ウォンの対ドルレートは14年6月に1ドル=1,019ウォン(月中平均)にまで上昇したが、最近では1,200ウォン近くにまで下落している。

## 追加景気対策としての消費刺激策

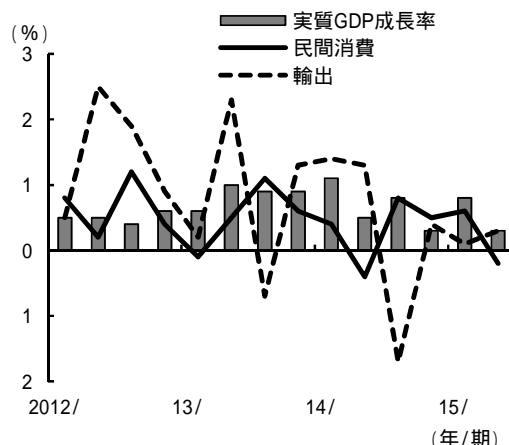
韓国銀行は7月、今年の成長率見通しを4月時点の+3.1%から+2.8%へ下方修正した。中国経済の減速懸念を含め、景気下振れリスクが高まるなかで、政府は8月26日、追加景気対策を発表した。消費の刺激を目的に、自動車と高級家電製品に対する特別消費税率を5%から3.5%に引き下げる(12月末まで)。国内最大のショッピングフェスティバルであるコリアグランドセールを従来のデパート、ディスカウントストアに加え、オンラインショッピングや伝統的市場まで広げる、リバースモーゲージ・ローンの対象を広げることなどを打ち出した。

自動車と高級家電製品に対する特別消費税率を5%から3.5%に引き下げる(12月末まで)。国内最大のショッピングフェスティバルであるコリアグランドセールを従来のデパート、ディスカウントストアに加え、オンラインショッピングや伝統的市場まで広げる、リバースモーゲージ・ローンの対象を広げることなどを打ち出した。

ただし、消費刺激策の効果は一時的なものになる可能性が高い。12年10月にも、自動車と高級家電に対する特別消費税率が1.5%ポイント引き下げられた。これにより自動車販売台数が11月、12月に押し上げられたが、減税措置終了後にその反動が表れた(右下図)。

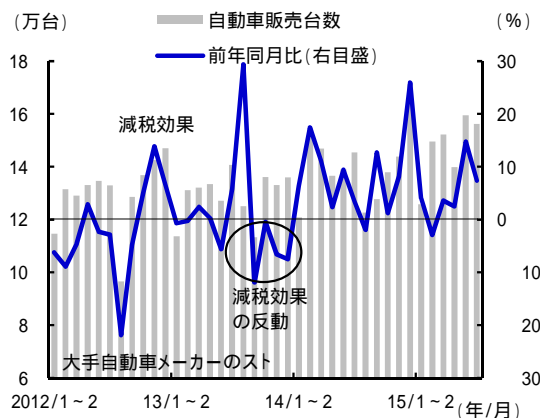
景気の悪化を食い止めることは必要であるが、新たな発展に向けての取り組みが総じて遅れている。大企業はリストラを推進し、成長が期待できる分野に経営資源をシフトしていくこと、政府は創造経済の実現に向けて、産業の高度化やベンチャー企業(あるいは中堅企業)の成長を促していくことがより重要であろう。

< 韓国の実質GDP成長率(前期比) >



(出所)韓国銀行、Economic Statistics System

< 韓国の自動車販売台数(含む輸入車) >



(注)旧正月のずれの影響を除くため1~2月は合計の平均。  
(出所)CEICデータベースほか

当レポートに掲載されているあらゆる内容の無断転載・複製を禁じます。当レポートは単に情報提供を目的に作成されており、その正確性を当行及び情報提供元が保証するものではなく、また掲載された内容は経済情勢等の変化により変更される事があります。掲載情報は利用者の責任と判断でご利用頂き、また個別の案件につきましては法律・会計・税務等の各方面の専門家にご相談下さるようお願い致します。万一、利用者が当情報の利用に関して損害を被った場合、当行及び情報提供元はその原因の如何を問わず賠償の責を負いません。